

金融商品の
取扱説明書
トリセツ

— 第50回 —

「外貨建・エブリバディプラス」
「米ドル建・一時払養老保険」
明治安田生命

日本の金利が下がったことにより円建ての保険商品の魅力が低下している。そんな中、明治安田生命は、同社初の外貨建て保険となる「外貨建・エブリバディプラス」「米ドル建・一時払養老保険」を発売した。今回はそれぞれの商品の仕組み、活用方法などについて、FPの森田和子さんに質問していただいた。



森田和子
Interviewer

もりた・かずこ / FPオフィス・モリタ、CFP®認定者
コンピュータソフト会社、生命保険会社勤務を経て1999年よりFPとして独立。オフィスのサイトは「おかねネット」<http://www.okane-net.com/>

明治安田生命保険相互会社
森本律子
商品部長

目標達成で自動的に円転
為替リスクを抑える

森田 今回、外貨建保険を2商品リリースされましたが、まずは、その背景から教えてください。

森本 外貨建・エブリバディプラスを8月1日から銀行窓販チャネルで、米ドル建・一時払養老保険を8月2日から営業職員チャネルで取扱いを開始しました。明治安田生命では初めての外貨建保険の販売です。

当社は円建ての貯蓄性商品を多数取り扱ってきましたが、現在、低金利の影響で予定利率引下げや売り止めなど厳しい状況に置かれています。お客さまの資産形成に寄与できる商品ができないかと考えた結果、外貨建ての保険を開発するに至りました。森田 では、それぞれの商品性についてお聞きします。まず、外貨建・エブリバディプラスの特徴を教えてください。

森本 外貨建・エブリバディプラスは、米ドル・豪ドル建ての一時払終身保険です。以前から銀行窓販で取

り扱っていたいただいている商品に円建てのエブリバディがありますが、これをベースとした商品(図表1)となります。ですので、窓販の現場では、まずエブリバディをご案内いただき、為替リスク等の運用上のリスクを取つてもう少し高い利回りを求める場合は外貨建・エブリバディプラスを勧める、という提案ができる商品だともいえます。

一方、外貨建・エブリバディプラスは銀行窓販では後発の商品です。そこで、当初5年間の返戻率を魅力的なものになるように設計しました。森田 投資経験の浅いお客さまの中には「外貨のリスクが怖いから、長期間預けたくない。でも増やしたい」というニーズを持っている方もいます。そうした方には、5年間である程度増やせる商品性は訴求力がありそうです。

森本 外貨のリスクが気になるお客さまには「円建終身保険移行特則」もご案内するとよいと考えます。これは円建ての解約返戻金の目標値を105%もしくは110%〜200

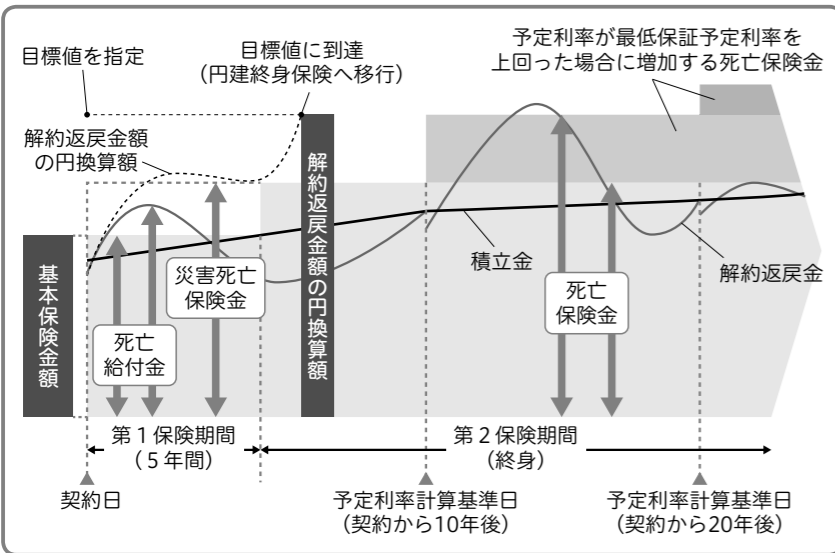
%の間(10%刻み)で設定しておき、契約から1年経過後以降に目標値に到達したら、自動的に円建終身保険に移行するものです。為替リスクをとる期間をさらに短くできる可能性があります。

お客さまが負うリスクを
為替リスクに限定

森田 次に「米ドル建・一時払養老保険」の特徴を教えてください。

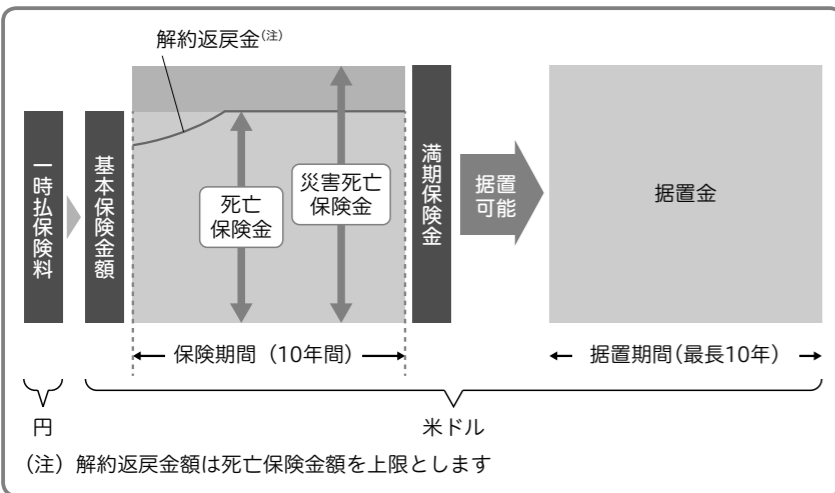
森本 以前「米ドル建・一時払養老保険」の運用期間10年の一時払養老保険です。過去には利回りが良いこともあり、円建ての一時払養老保険が人気を集めました。「円建てでは以前の予定利率を実現できないが、米ドル建てなら実現できる」こ

図表1 「外貨建・エブリバディプラス」の仕組み図 (被保険者の契約年齢75歳以下の場合)



※明治安田生命資料より抜粋し編集部作成

図表2 「米ドル建・一時払養老保険」の仕組み図



※明治安田生命資料より抜粋し編集部作成

とを、過去の一時払養老保険をご存知の方に訴求するために「米ドル建・一時払養老保険」という「直球」のネーミングにしています。

この商品は、契約時に10年後に受け取れるドル建ての満期保険金額が決定し、市場金利に応じて解約返戻金が上下する市場価格調整機能(MVA)の仕組みも付けていません。お客さまにご負担いただくリスクを為替リスクのみに限定した点が最大の特徴です(図表2)。

ただ、10年後の為替相場を予想するのは不可能です。そこで満期後に最長10年間の据置期間を設けました。お客さまには、この間に為替相場をみて、円貨受取で有利となる資金引出しのタイミングを計ってもらうことができます。

また、この保険では契約通貨を米ドルのみとしています。投資経験の浅い方のご加入も想定しているため、「利回りが良い」ことよりも「リスクが限定的でわかりやすい」ことを優先しているからです。米ドルの為替相場はテレビや新聞で報じられる